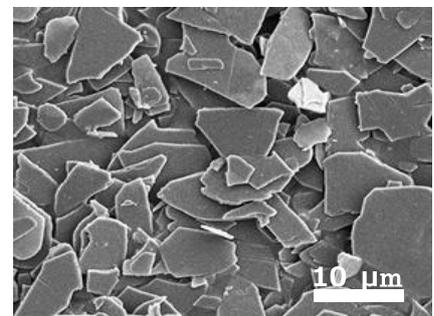


**DIC 株式会社の特特殊形状フィラー**  
**“板状アルミナ”『CeramNex™ (セラネクス) AP10』販売で総代理店契約を締結**  
**～電子部材の高強度化や高い放熱性を実現し、CASE や 5G の普及に貢献～**

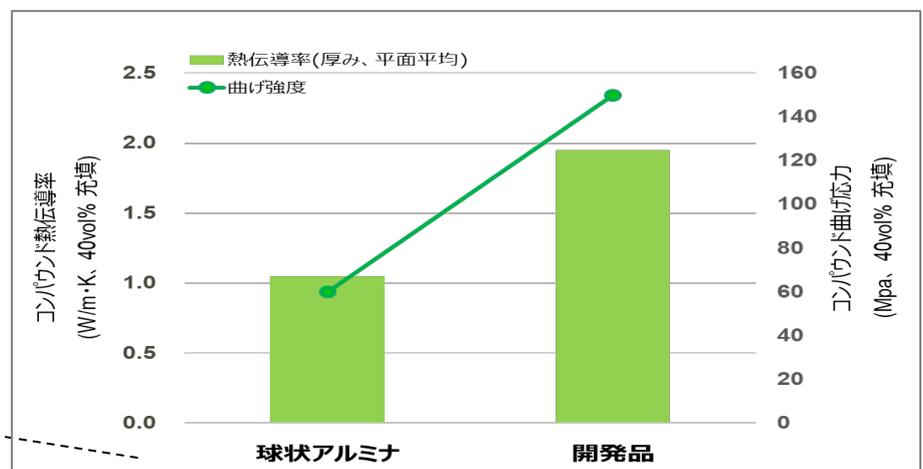
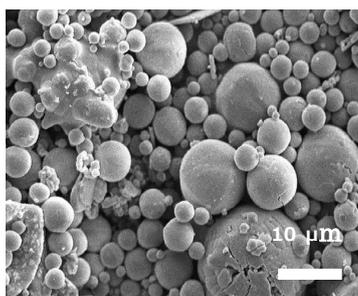
長瀬産業株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：朝倉 研二、以下「長瀬産業」）は、DIC 株式会社（本社：東京都中央区、社長執行役員：猪野 薫）との間で、電子機器等の放熱用途で用いられるアルミナフィラー（充填材）の“板状アルミナ”『CeramNex (セラネクス)™ AP10』の販売にかかる総代理店契約を締結しました。2021年1月から販売を開始します。今後は、品番ラインナップを拡充しつつ、国内に加えて中国、韓国、台湾、欧米地域の自動車部品および電子部品関連メーカーへの販売を視野に入れ、2025年までに売上高8億円を目指します。

自動車やエレクトロニクスの分野においては、CASE（※1）や次世代通信規格 5G の普及に対応するため部品の小型化や高性能化が進んでいますが、これに伴って機器の内部で発生する熱の除去が重要となっています。アルミナフィラーは熱的安定性が高く、自動車や電子機器の部材の放熱用途などで用いられる充填材です。樹脂部材に熱伝導性を付与するため、大量に用いる配合設計が行われることがありますが、大量のフィラーは成型性を低下させ、成形物の機械強度を低下させる要因にもなります。

DIC 株式会社独自の合成方法で開発したアルミナフィラーは、粒状や不定形な形状を呈する一般的なアルミナフィラーとは異なり、“高い結晶性”を有し、アスペクト比（※2）が高い“板状”であることが最大の特長です。そのため、他の形状のアルミナフィラーと比べ、少量の添加で高強度化が望めるため、軽量化に貢献します。加えて、添加物表面の平滑性が向上するため、上記以外でも幅広い用途で利用することが可能です。



板状アルミナフィラー『CeramNex AP10』



開発品と球状アルミナフィラーを添加したコンパウンドの比較評価

※1 「Connected (つながる)」「Autonomous (自動運転)」「Sharing & Services (シェアリングとサービス)」「Electric (電動)」を繋げた造語。

※2 厚みに対する長辺の比率。アスペクト比が大きいほど熱が通るパスが増え、熱が伝わりやすくなる傾向がある。

◆ お問い合わせ先

長瀬産業株式会社 <https://www.nagase.co.jp/>

< 事業に関するお問い合わせ >

機能化学品事業部 トータルソリューション室 TEL : 03-3665-3330

< 報道に関するお問い合わせ >

経営企画本部 企画管理室 TEL : 03-3665-3640